

10

李修鑑氏の寄附 亦宜君李修鑑氏の寄附

業に従事するものは能く經濟界の狀態を明
にして過度の延取引に戒慎する所なかる可
く、清國商人の恐慌來は好價の殷望に非
らず、豈實なる商業取引を擧ずする清商に
するに失し、清國皇帝の意可と妄とす

産育社一名未定六名にして昨年の卒
生名は天、韓一、農工の各銀行に一名
の書記に一名就職せり尙日本人夜學
生名に附する卒業式は十八日午前十

●皇室債處分發表延

露國上院議員の
露國貴族院議員グレースメ
二十一日大連を出發仁川を

● 鴨綠江航通中止 ●
● 長より金若干圓宛を寄附 ●
● 二十四日入 ●
● 下渡航航致に付約十日位 ●

江流氷の爲め目
 流通を中止すと
 したりと云ふ
 久さしき懸案問
 は此頃漸く解決を生
 鳥蘇 里河の西岸
 として落着し清國皇

たりし雲^{くも}岸^{きし}の^は欄^{らん}也^{なり}
たり先づ結構の事也
威^い領^{りやう}とし^て東^{あづま}岸^{きし}を^を濟^{さへ}領^{りやう}
の裁可をも經たりと

[illegible]